

From Virtue to Vice

淫魔に堕ちる
聖騎士



漫画：無限の須田時計

原作：えたみ

原案：TSEのF

ここか…

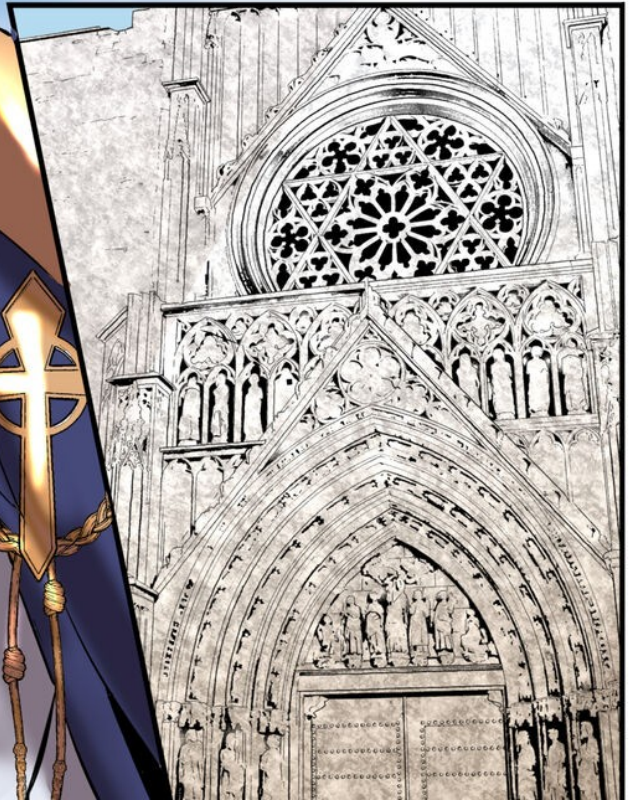
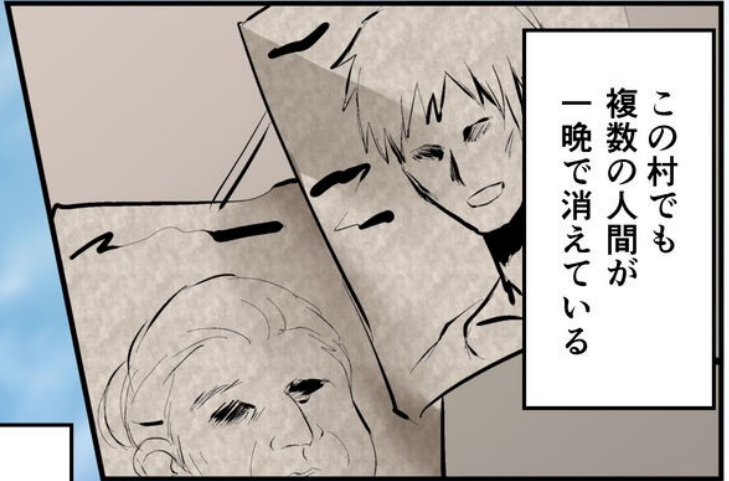
聖教から調査の依頼を
受けてこの村に
やってきたが

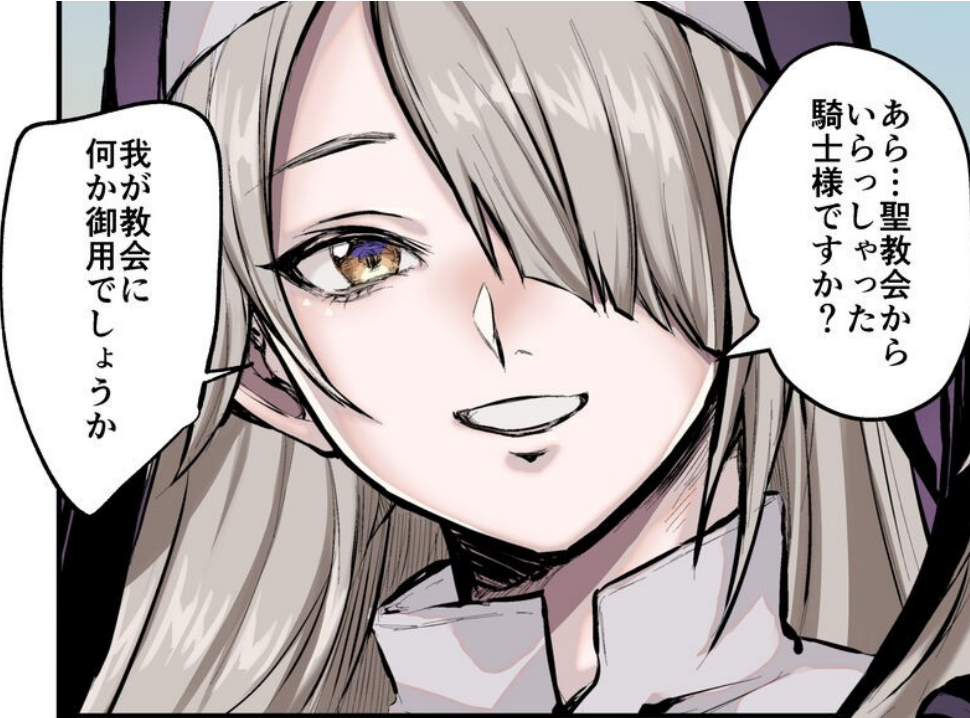
この付近で連続して
多発しているという
神隠し事件

目ぼしい情報は
まだ見つかっていない

この村でも
複数の人間が
一晩で消えている

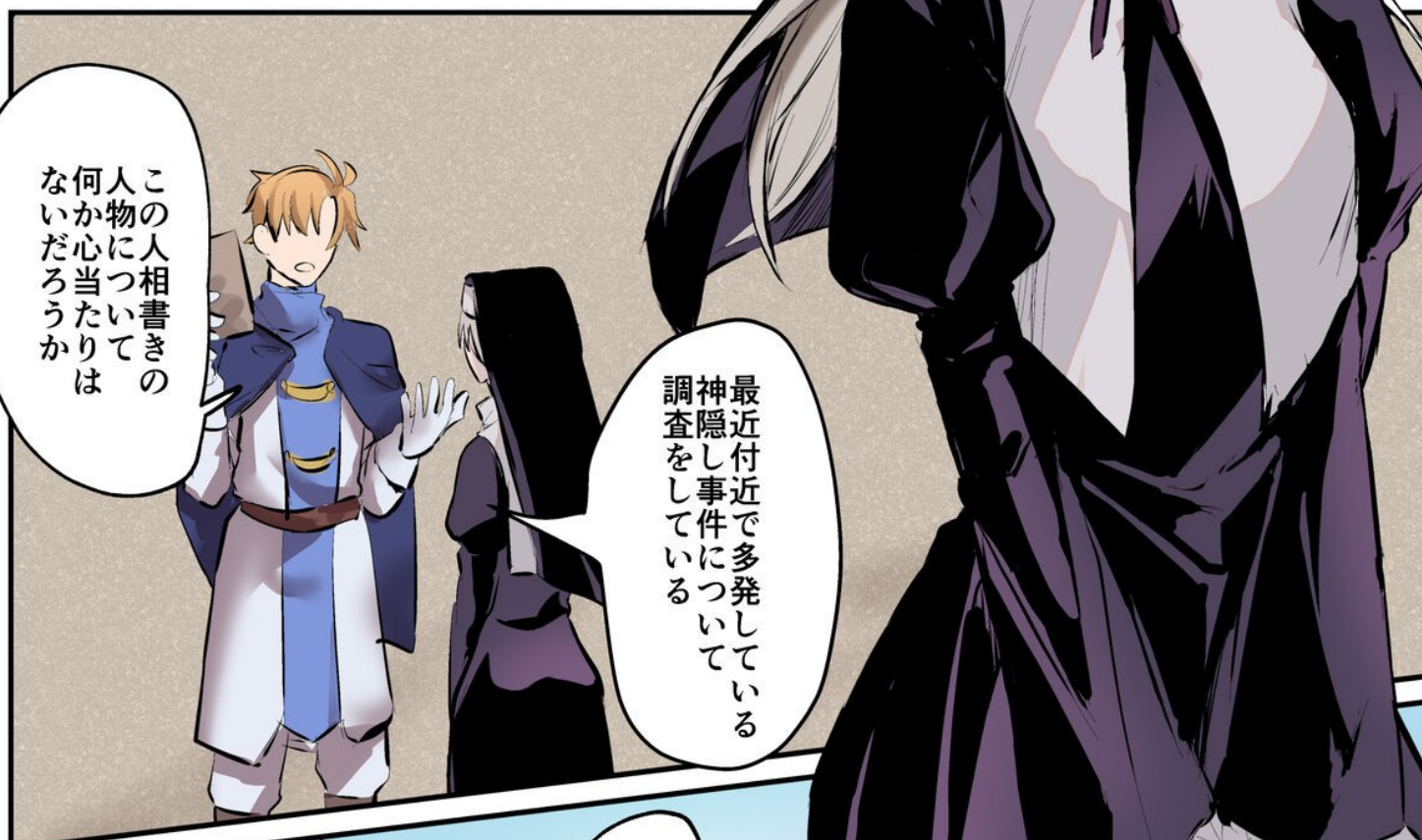
教会か…
ここでも聞いて
みるとしよう





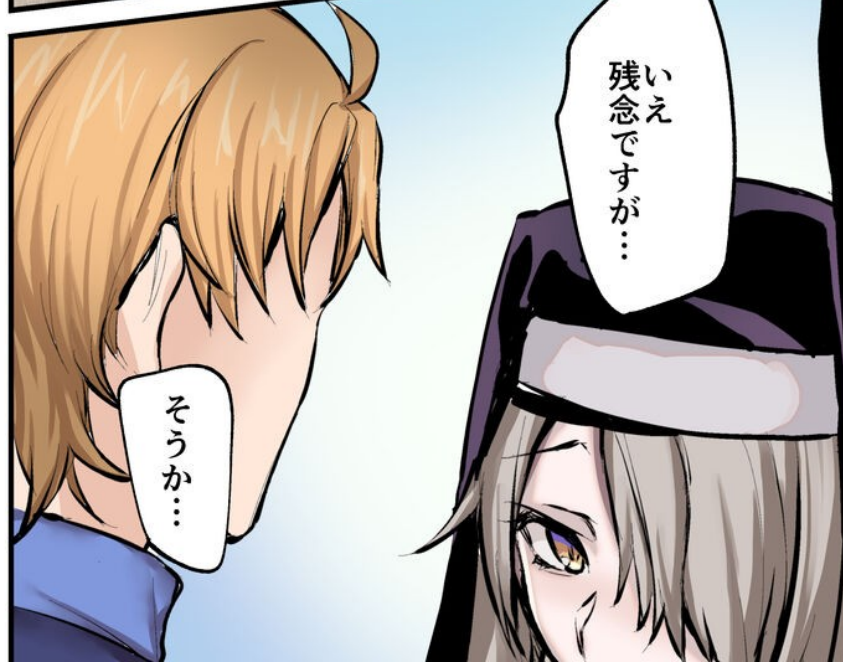
我が教会に何か御用でしょうか

あら：聖教会からいらっしゃった騎士様ですか？



この人相書きの人物に於いては何だか当たりはないだろうか

最近付近で多発している神隠し事件について調査をしている



そうか…

いえ残念ですが…

この教会付近で
住人の目撃情報
があるが…

まだ情報が
足りないな…
日も暮れてきた
宿を探るか

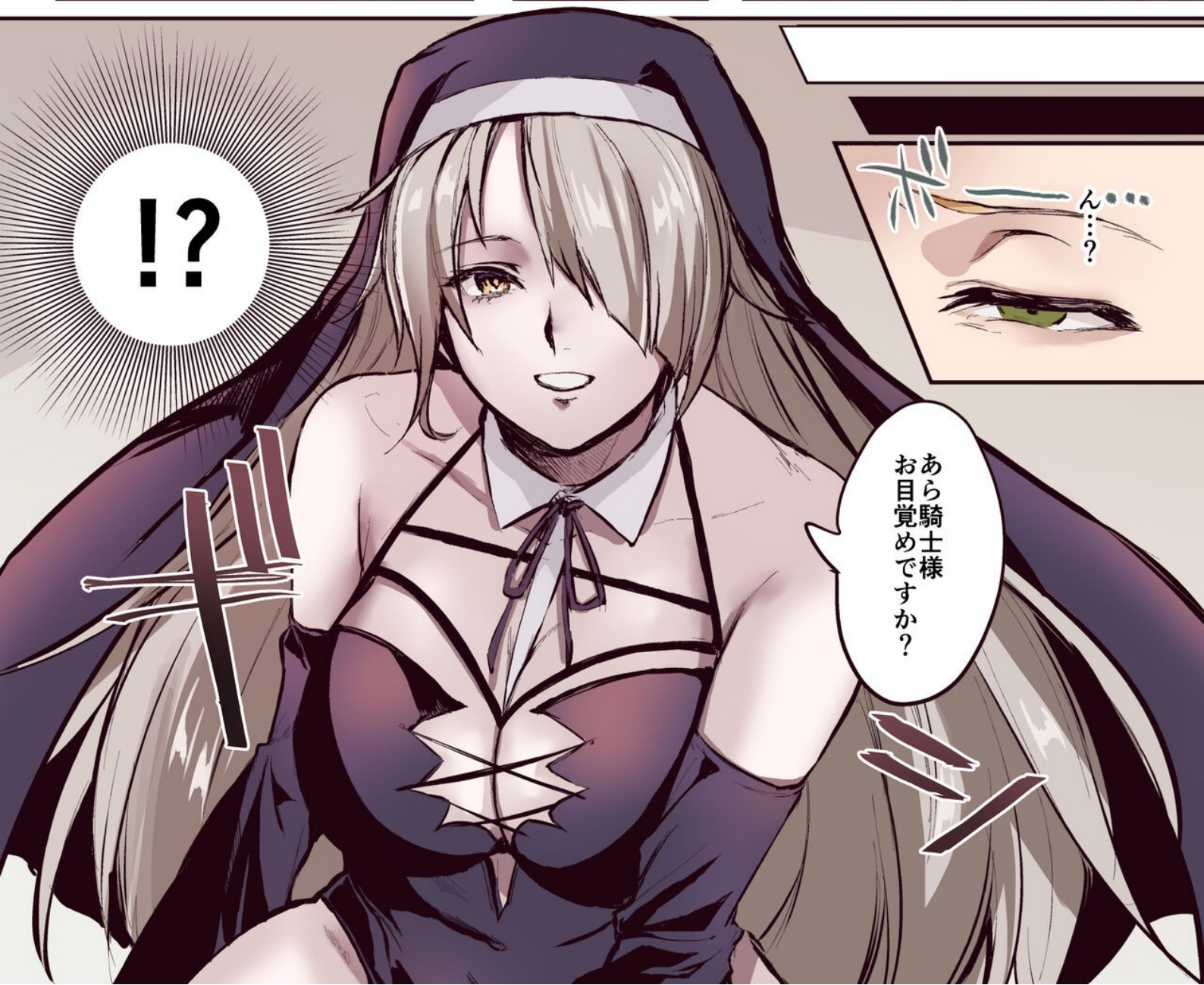
シスター
このあたりに
宿はあるか？

まあそれでしたら
是非泊まって
いってくださいませ

温かい食事を
ご用意いたしますので！

…感謝する
では世話になる

ええ、ごゆっくり…



シスター……？
何を……!?

ずいぶんと
お疲れの様子
でしたので……

すみません……
もう少し量を調整
するべきでしたね

うふふ……
よく眠れましたか？

体に力が入らない……

くくく……

ドッ
ドッ
ドッ



ぐっ...やめろ...



まさか食事に関か
盛ったのか!!?



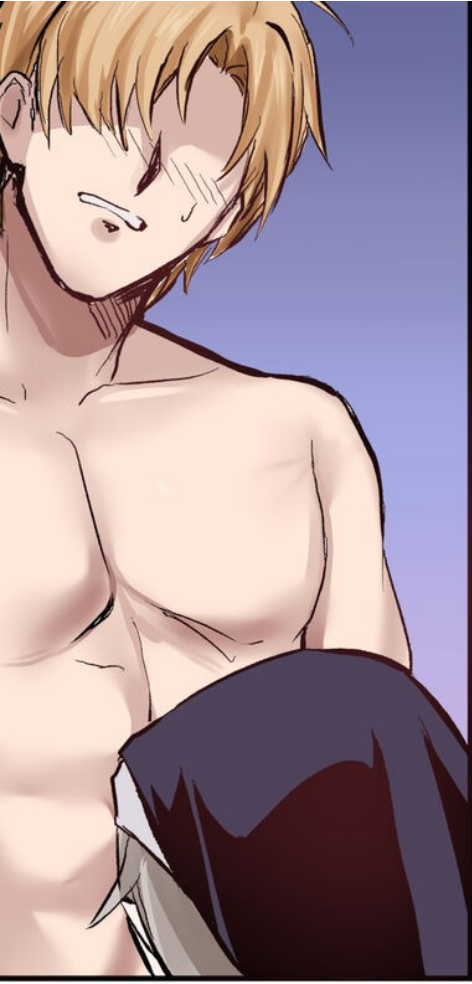
シスターあなたは...



そう拒絶されては
私も哀しいものです...

すり...

それに張り詰めては
こんなに張り詰めては
苦しいでしょう
今楽しいでして
差し上げますね...
♥



でも
彼女の目を見ると

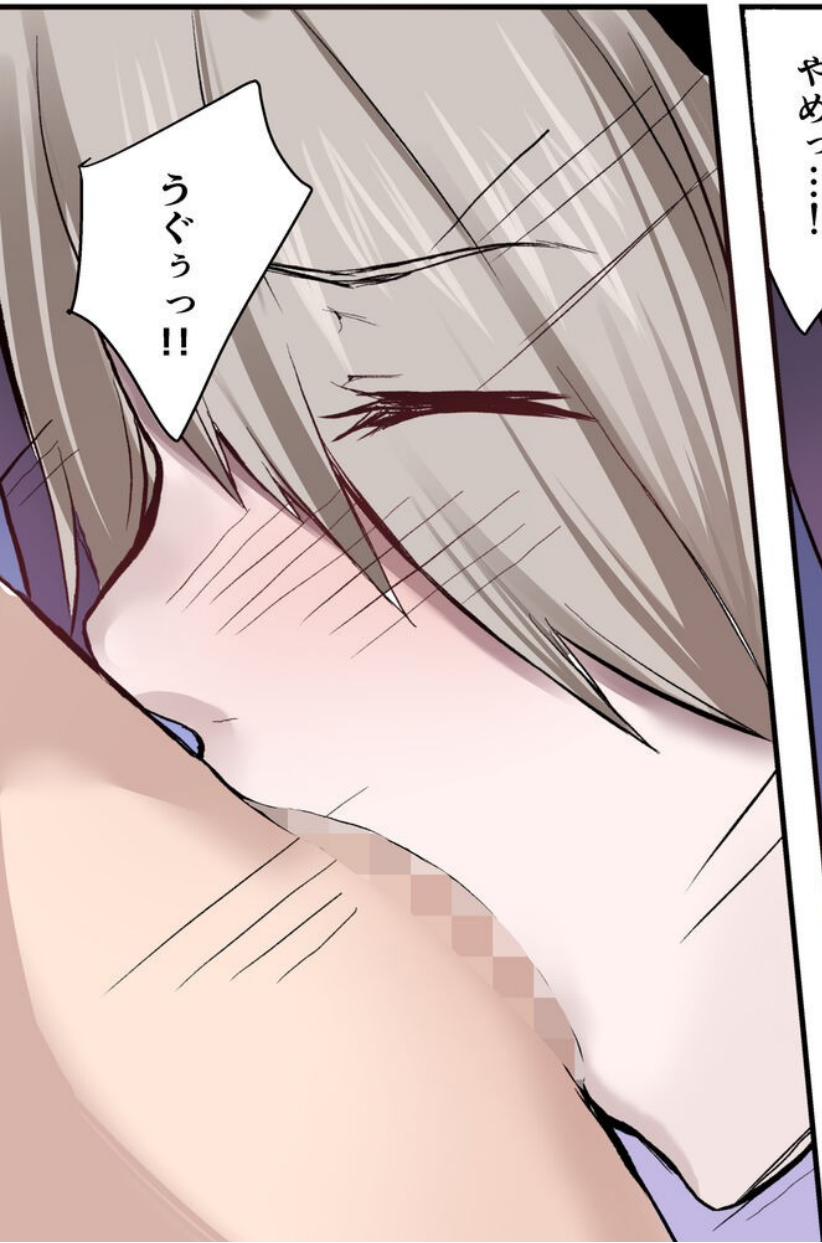
思考がまとまらない



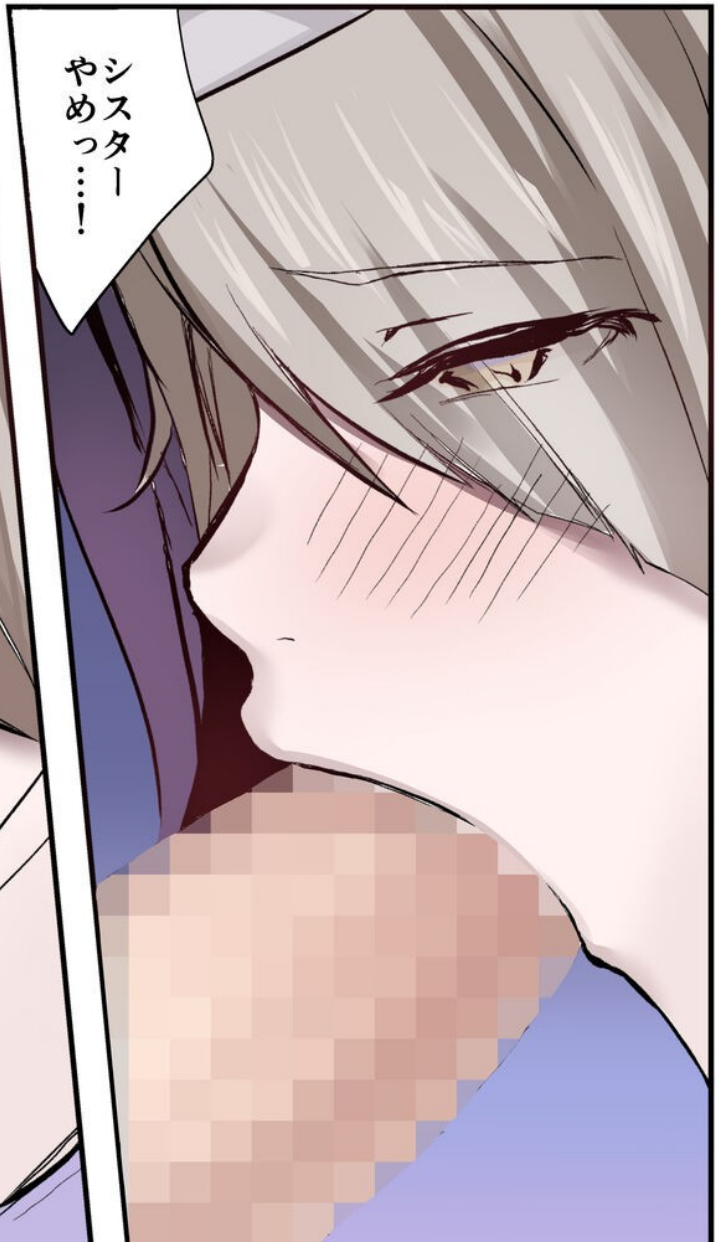
すぐに済ませますので

このままじゃマズい…

そんなに固く
ならないで下さい

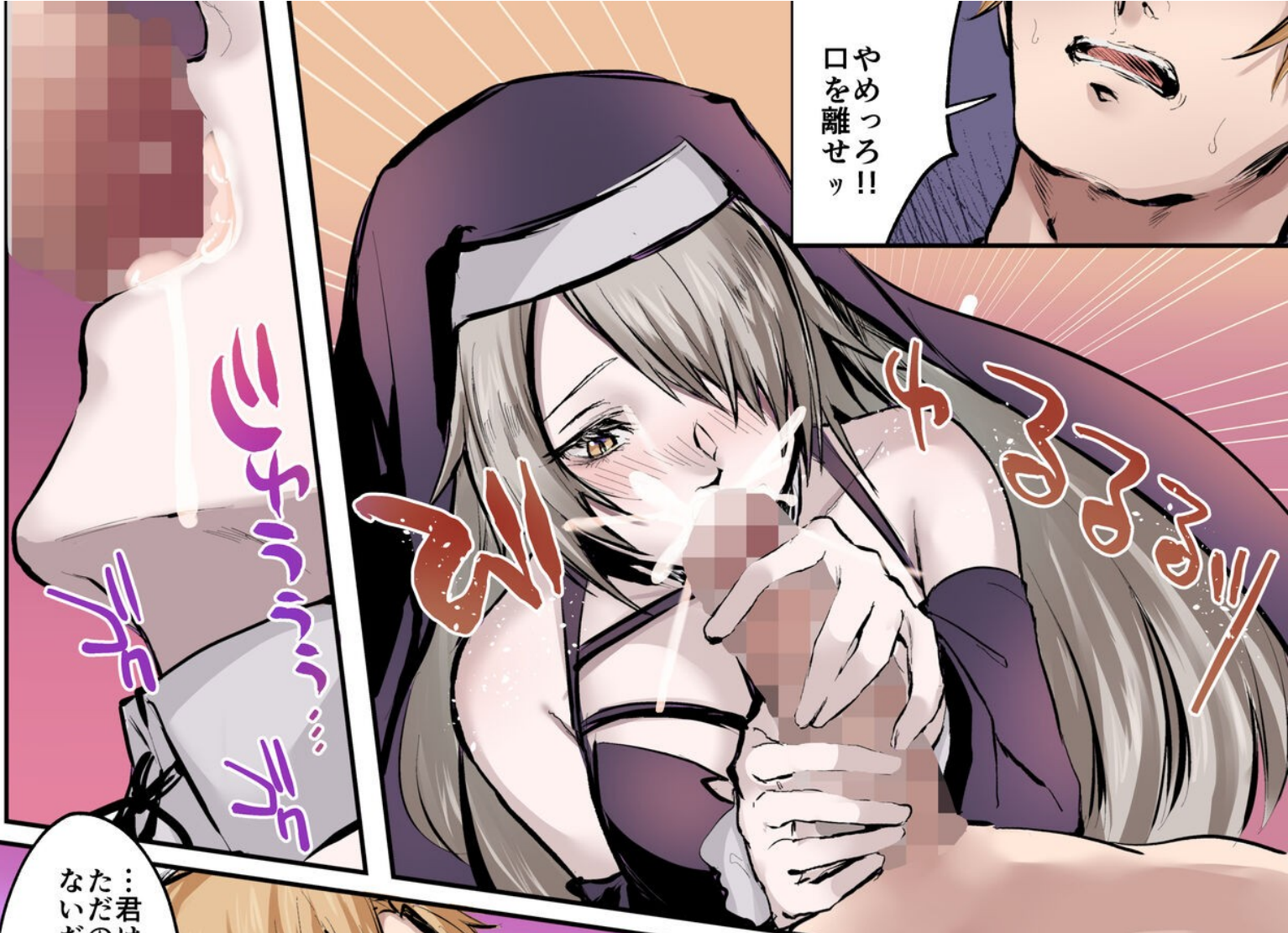


うぐうっ!!

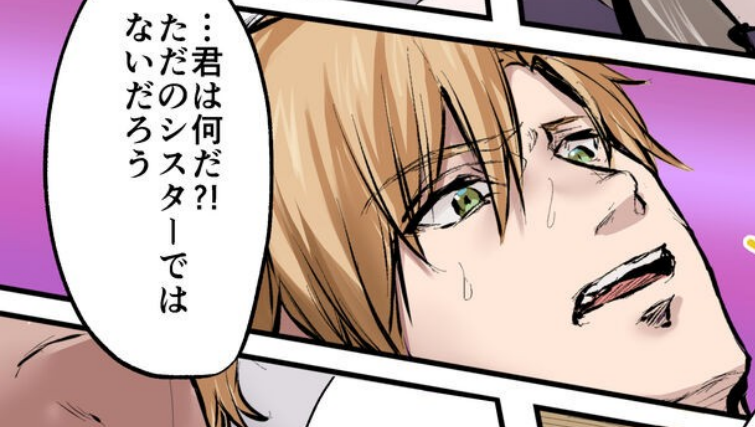


シスター
やめっ…!!

やめっろ!!
口を離せッ



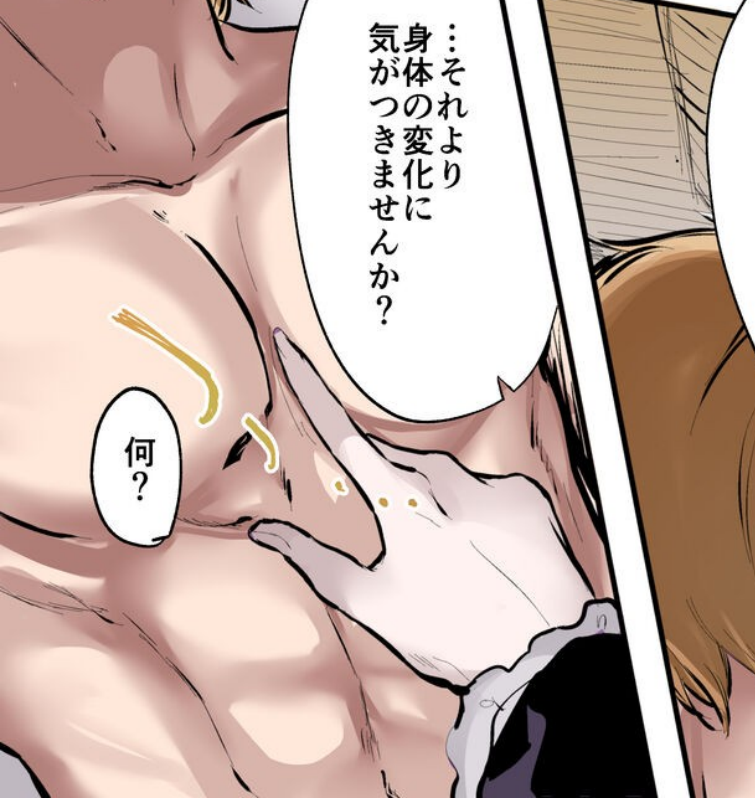
君は何だ?!
ただのシスターでは
ないだろう



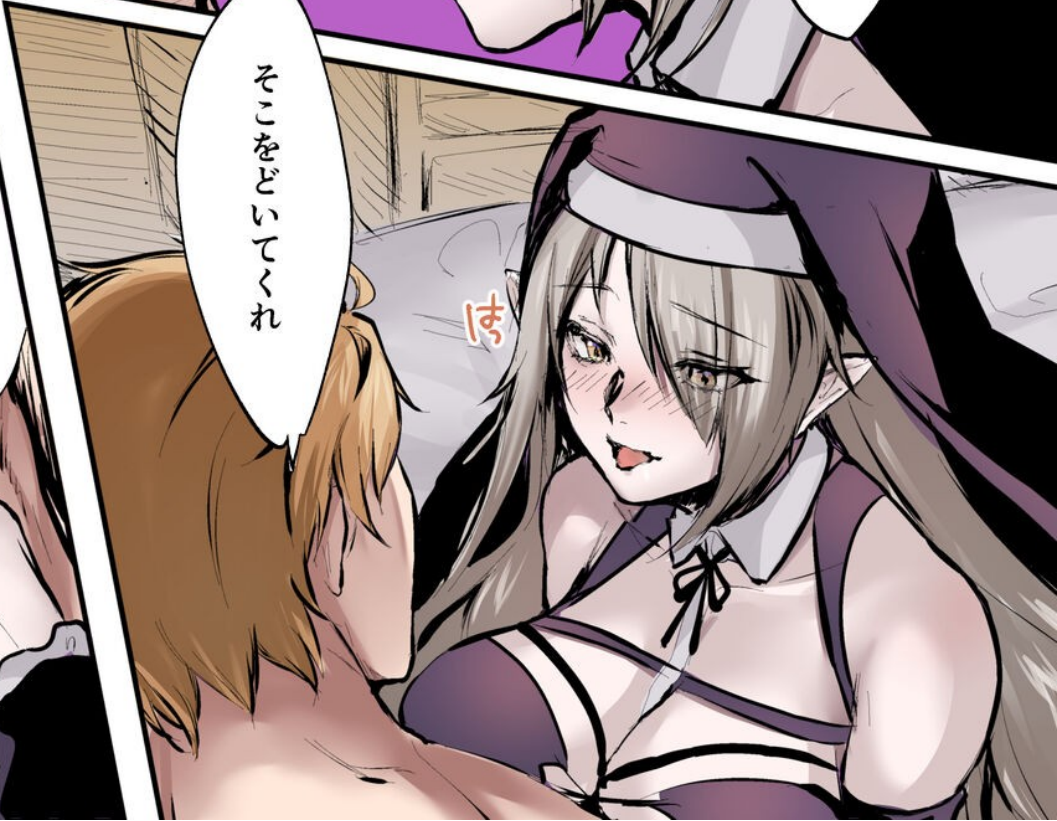
あはっ

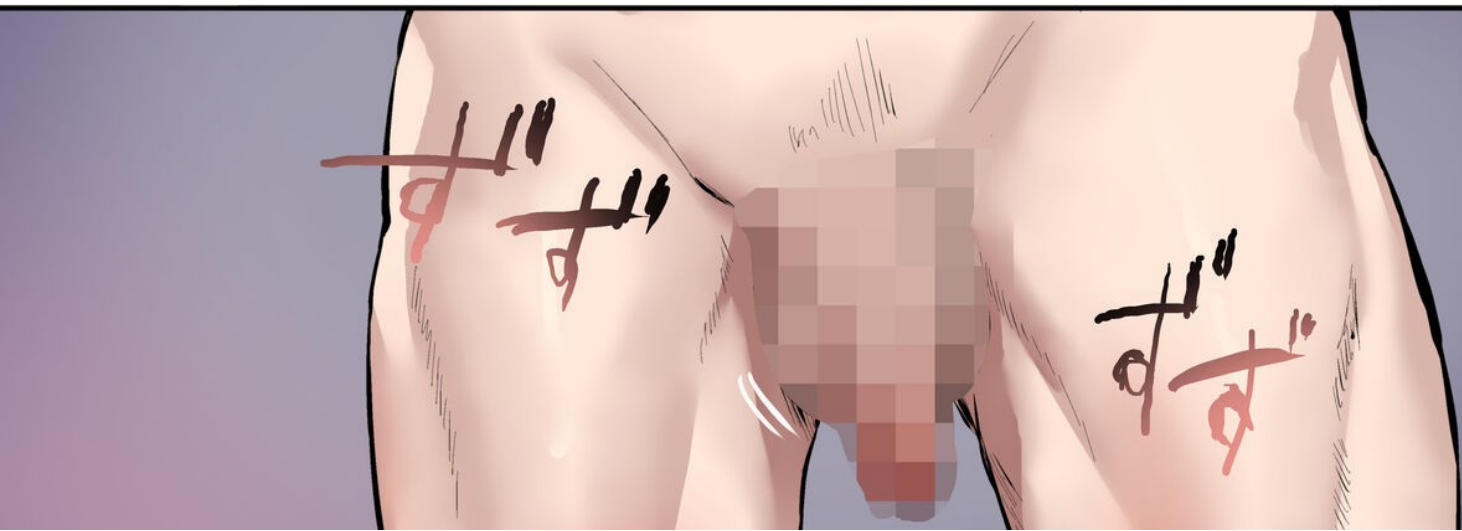
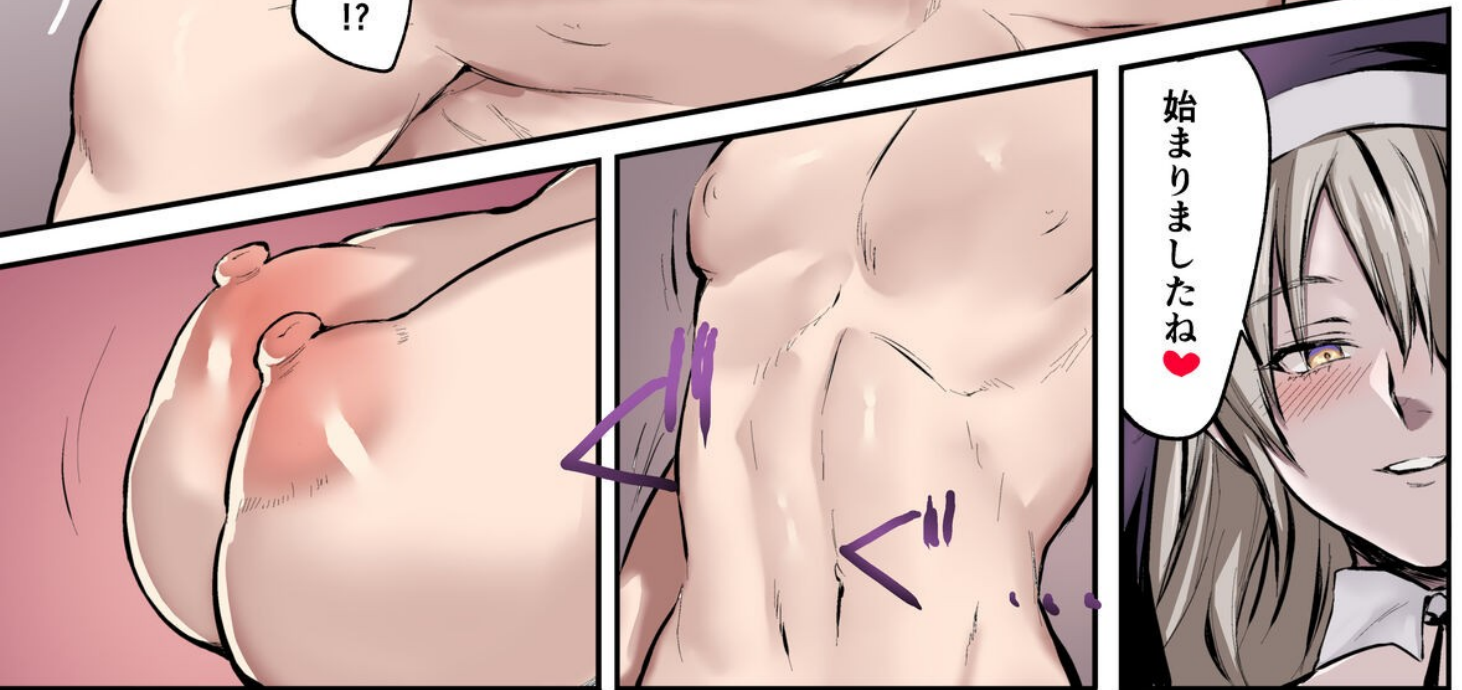
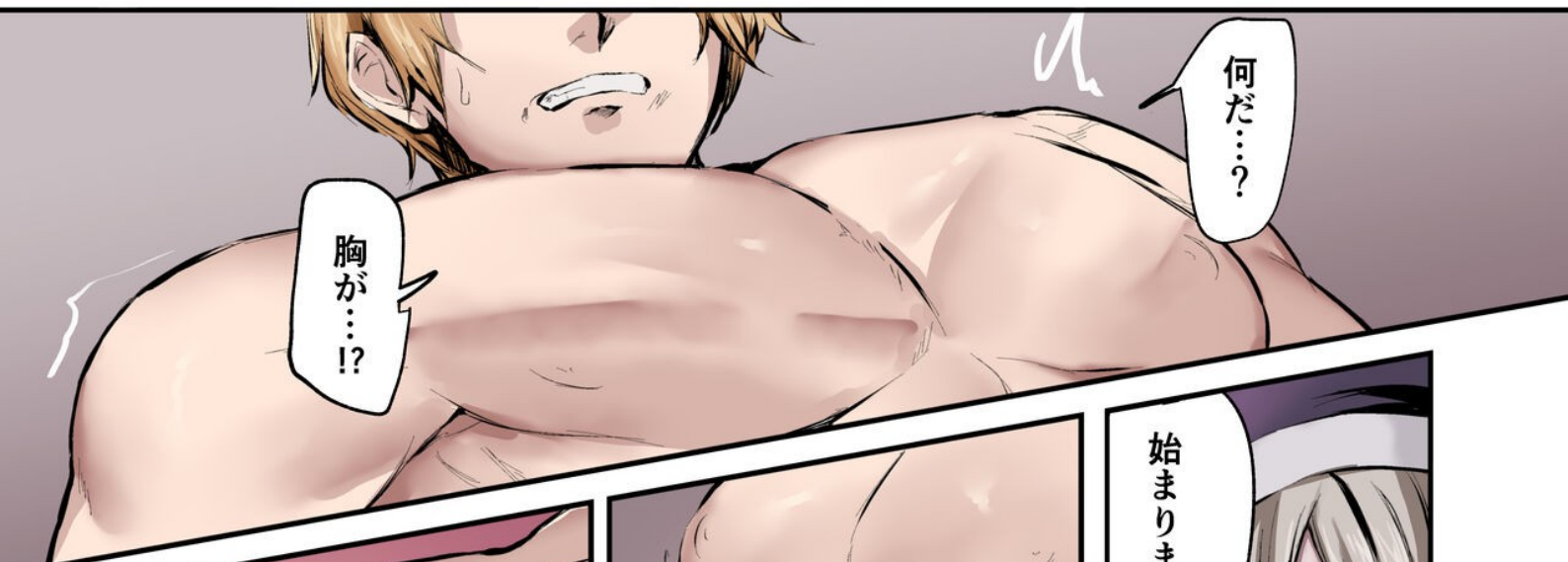
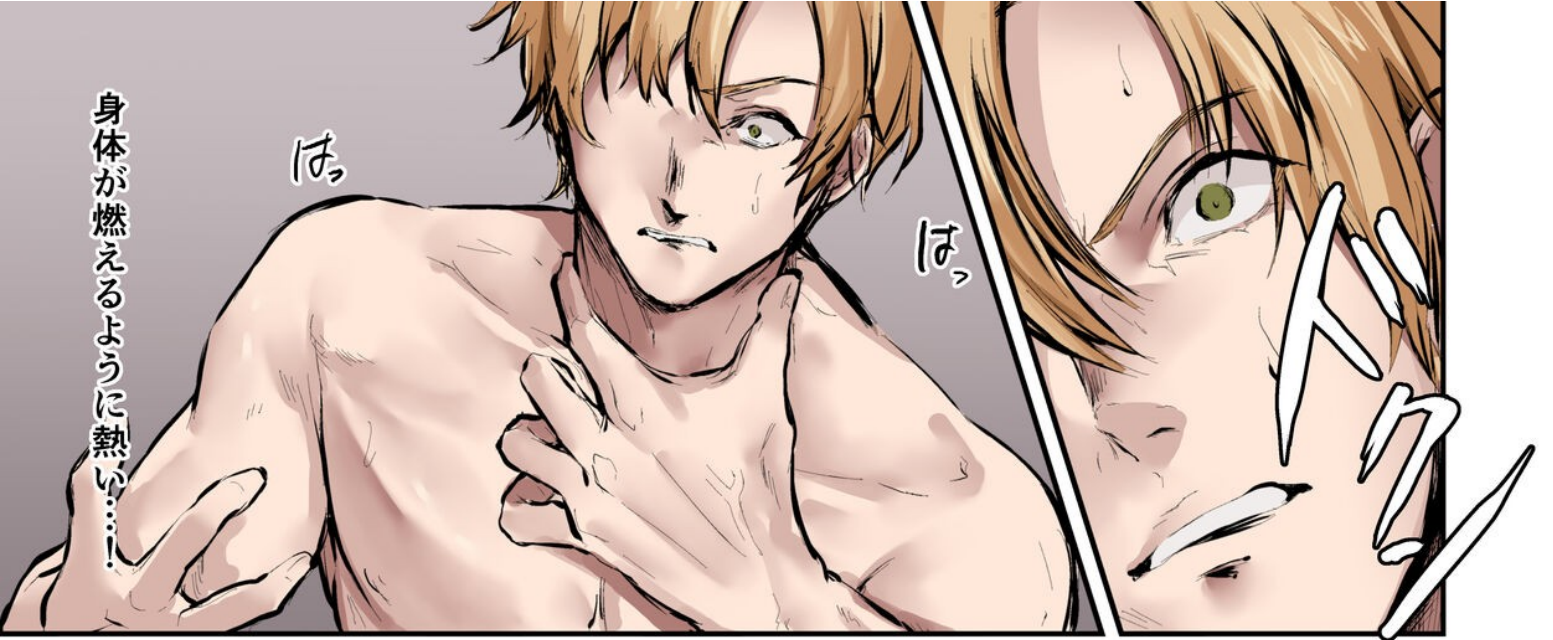
それより
身体の変化に
気がつきませんか?

そこをどいてくれ



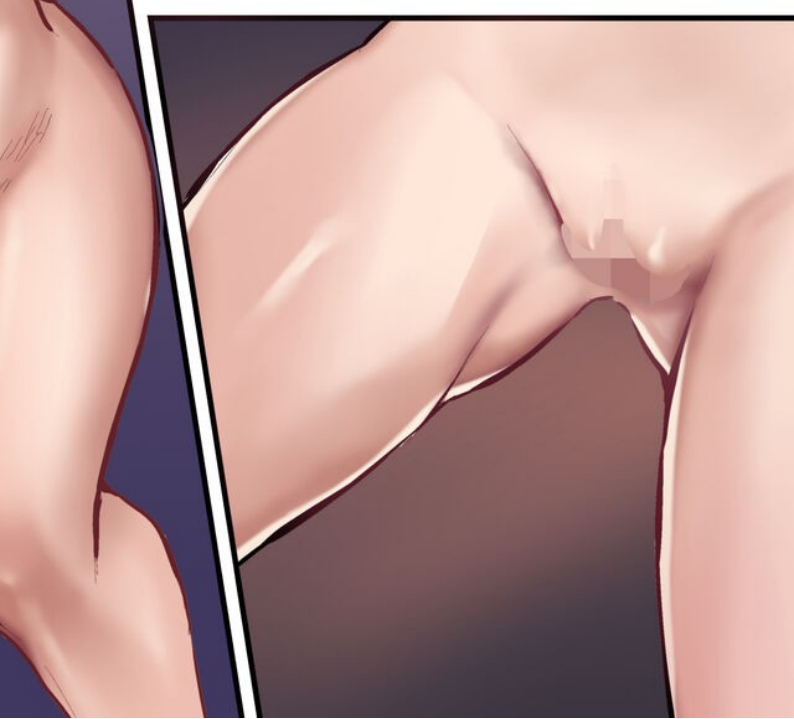
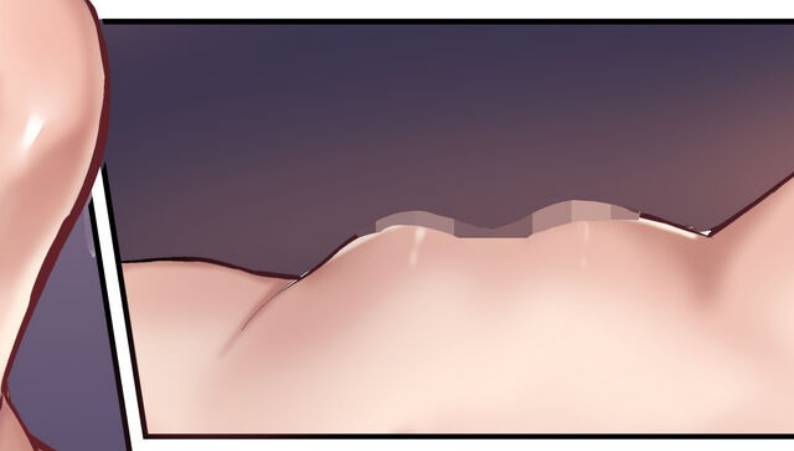
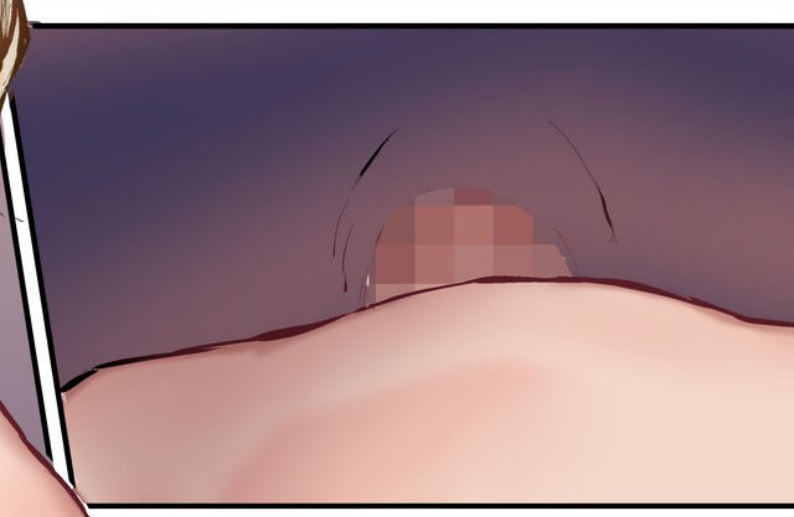
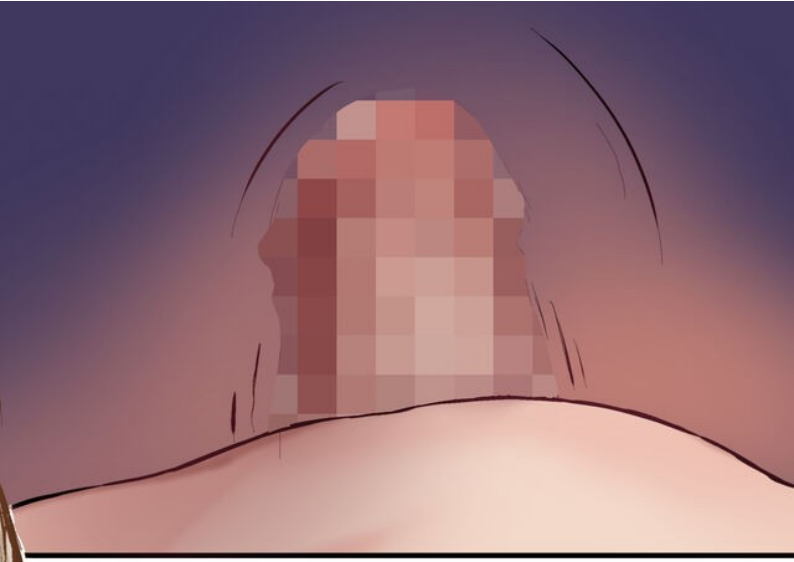
何?

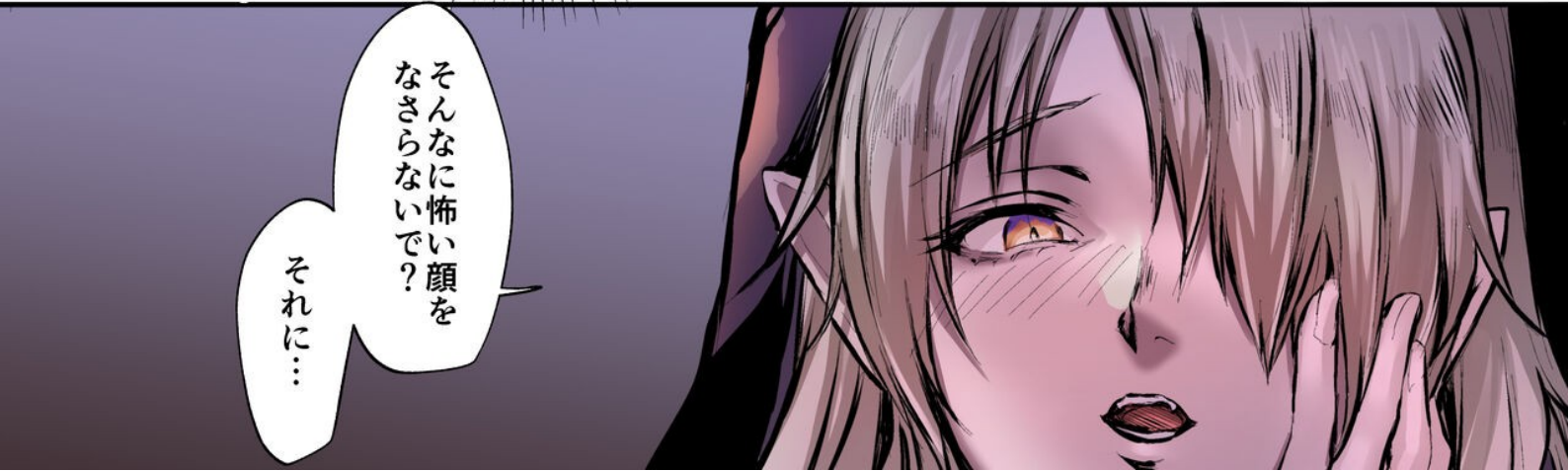
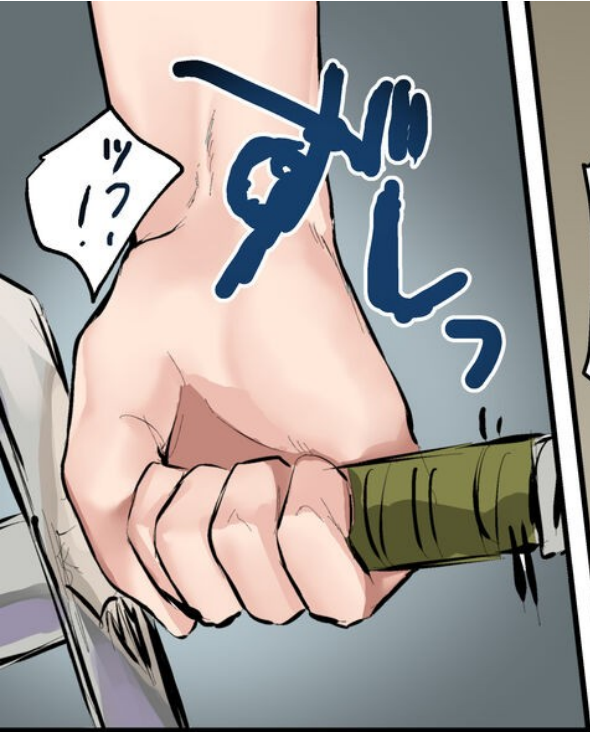






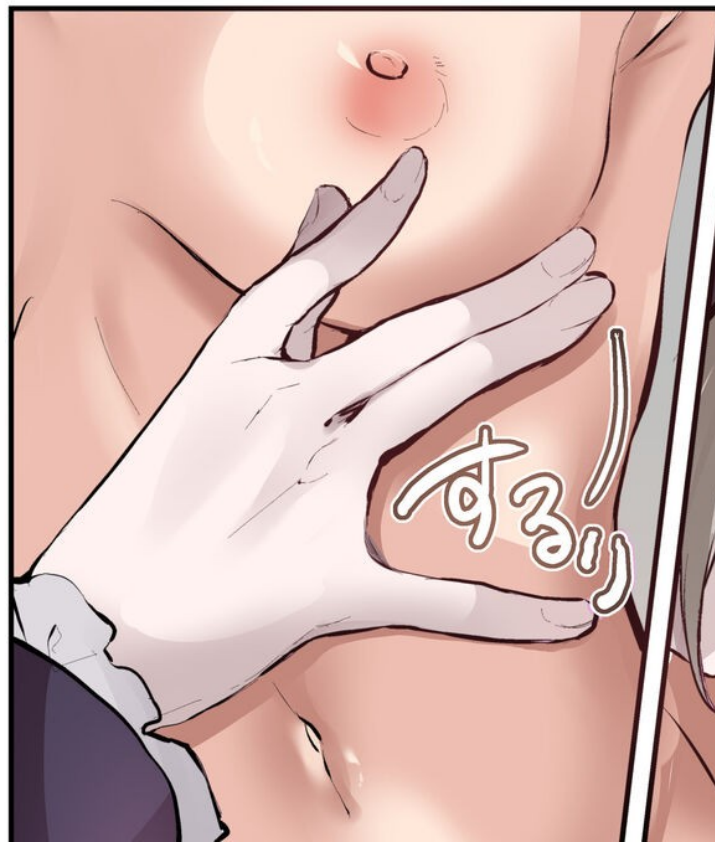
可愛らしいお姿になりましたね...❤







ただの女性となった
貴女に
そんな物騒なものは
不要でしょう？



駄目だ
押し返せないッ……!

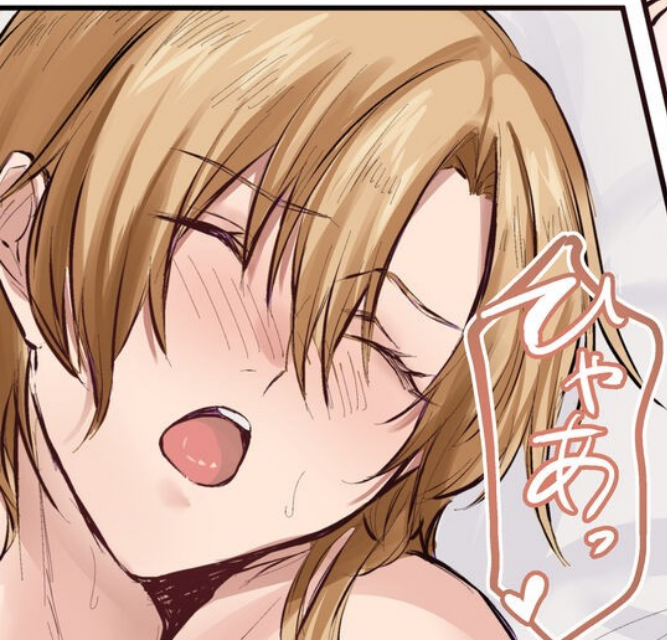


やめろ...ッ!

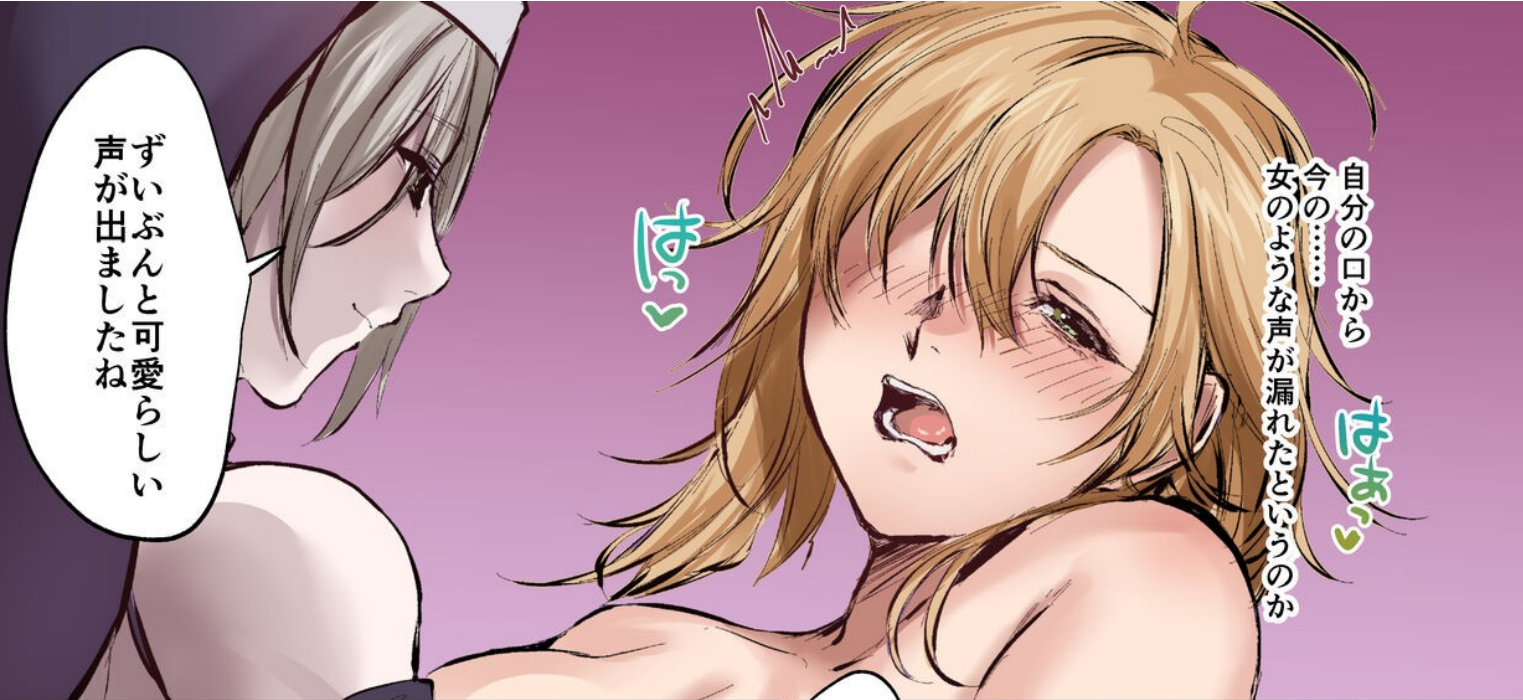
早く元に戻せ!



そんなこと言って...
キスだけでこんなに
ぷっくりさせて

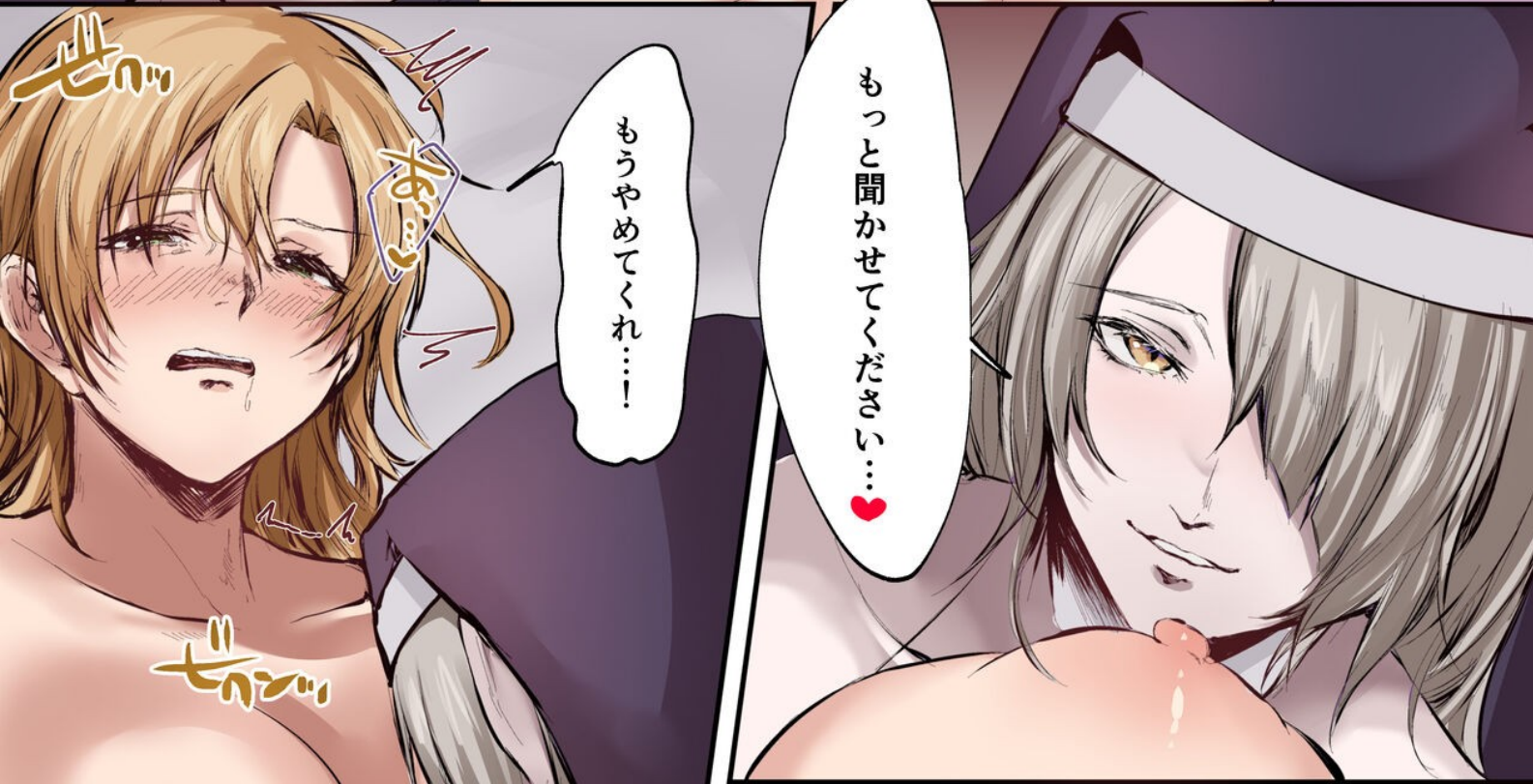


わあッ



自分の口から
今の……
女のような声が出たというのか

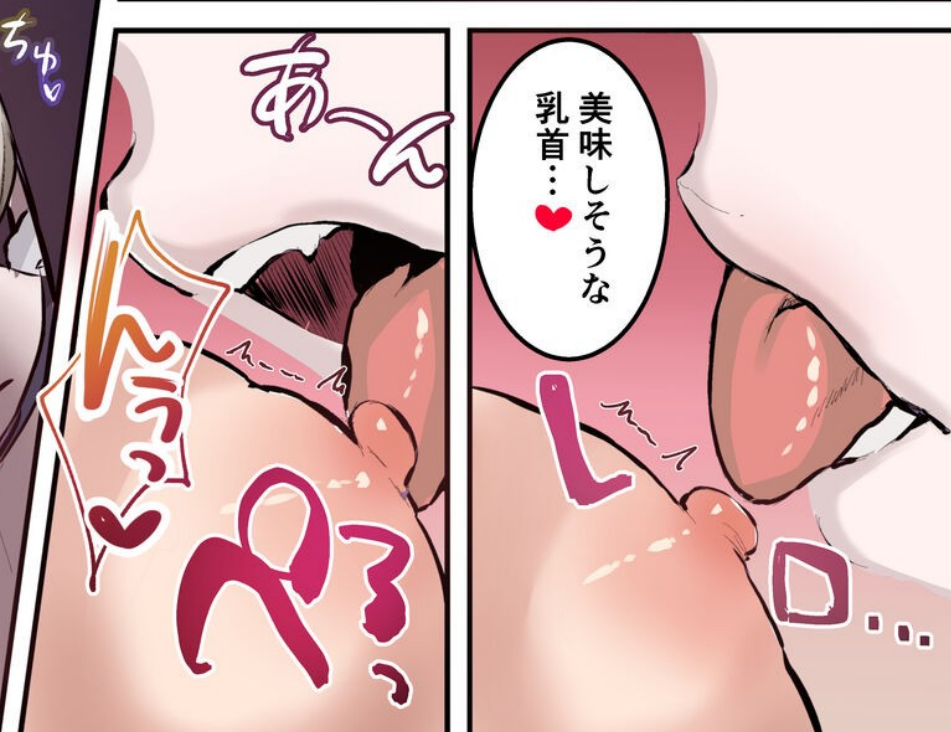
ずいぶんと可愛らしい
声が出ましたね



もっと聞かせてください……❤

もうやめてくれ……!

なぜ 聖騎士である私が
こんな無様な姿を……

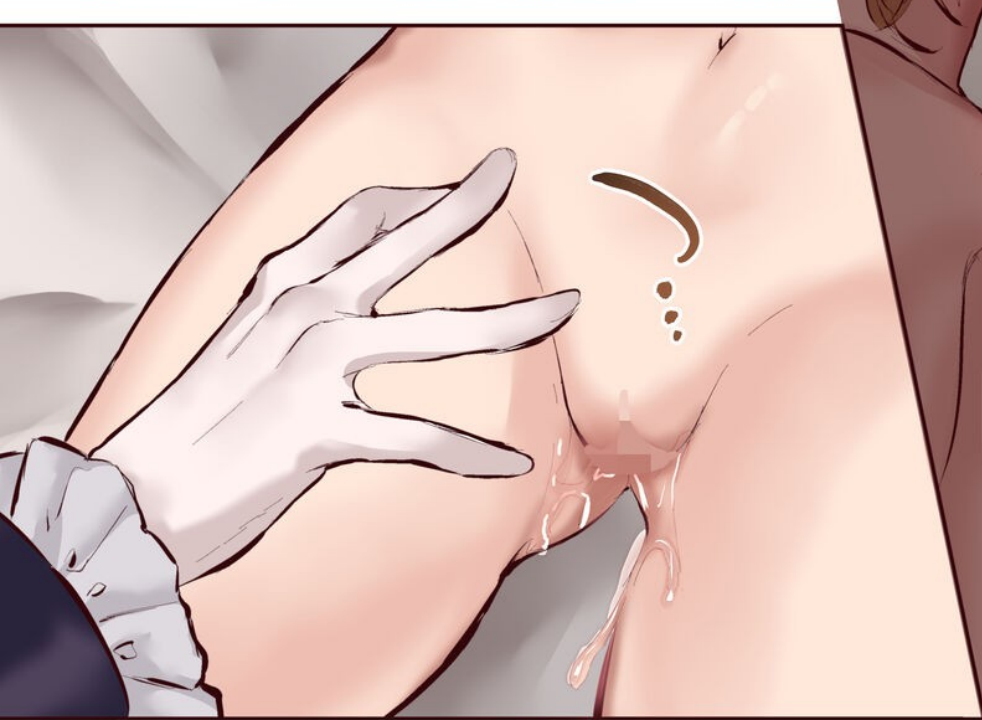


美味しそうな
乳首……❤

舌が這いずり回る
度にぞくぞくして...

下半身が疼く...

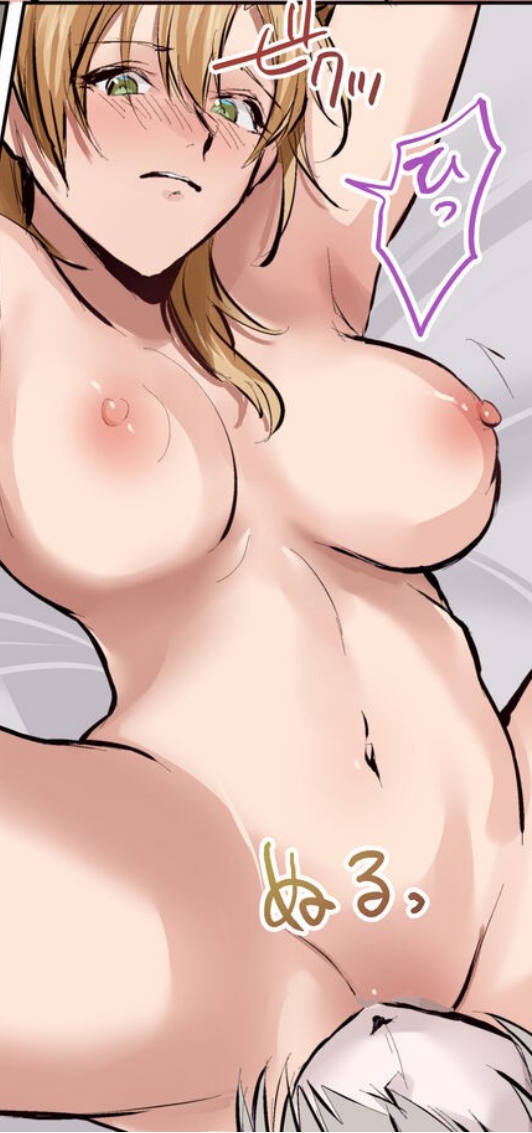
しゅ...
...
...



ほお...

しっかり濡れてますね
騎士様のおまんこ
❤️

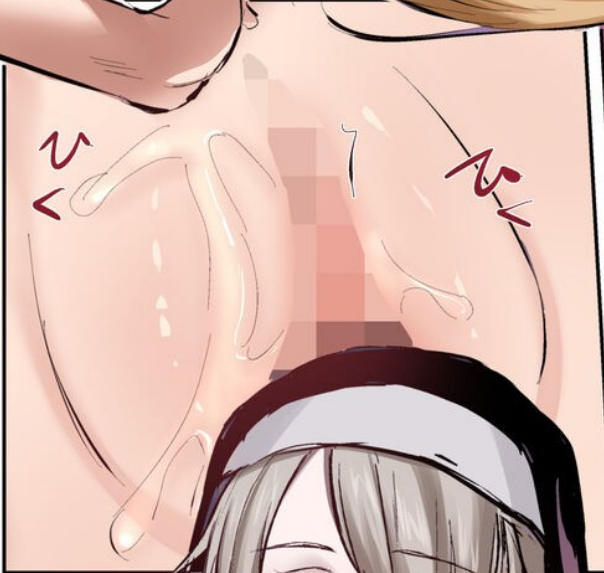






気持ちよくなつて
頂いて
何よりです

しかし



いった…のか
女性の身体で…はぁ…

は



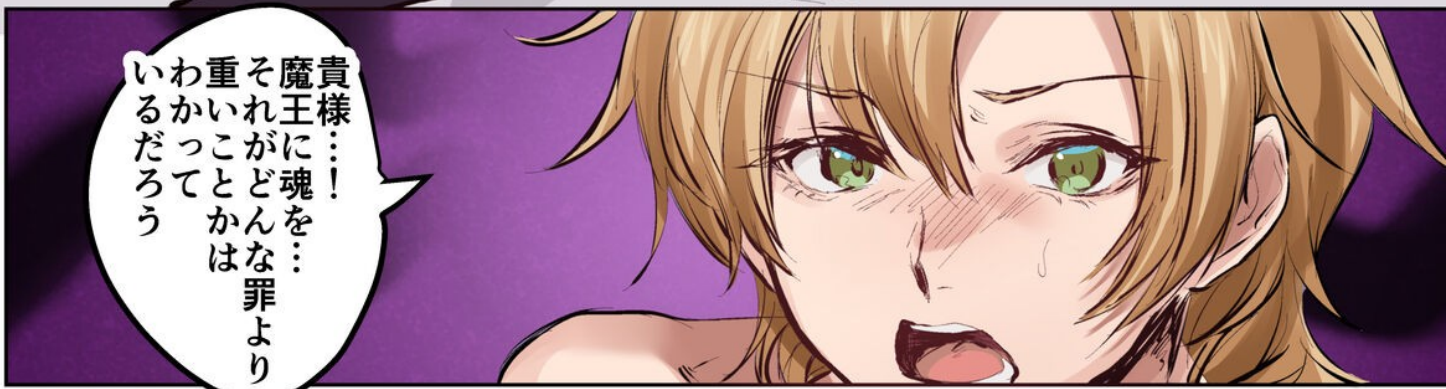
お楽しみは
ここからですよ？

ルル



ですが：
魔王様にこんなにも
素敵な身体にして
頂いたのです

私も元は
力など何も無い
普通の村娘
でした



貴様…！！
魔王に魂を…
それがどんな罪より
重いことかは
わかっている
だろう



そこで
貴方には
私どもの仲間となって

贄となる人々を
たくさん集めて
貰いたいです

そんなものは些細なことです
ケガレた存在である人間を
生贄に捧げることによって
封印された魔王様は
目を覚まされます



おにっ♡

身体つきもとっても淫らになって…まるで私を誘っているかのようです…♡



おにっ♡
おにっ♡
おにっ♡
おにっ♡

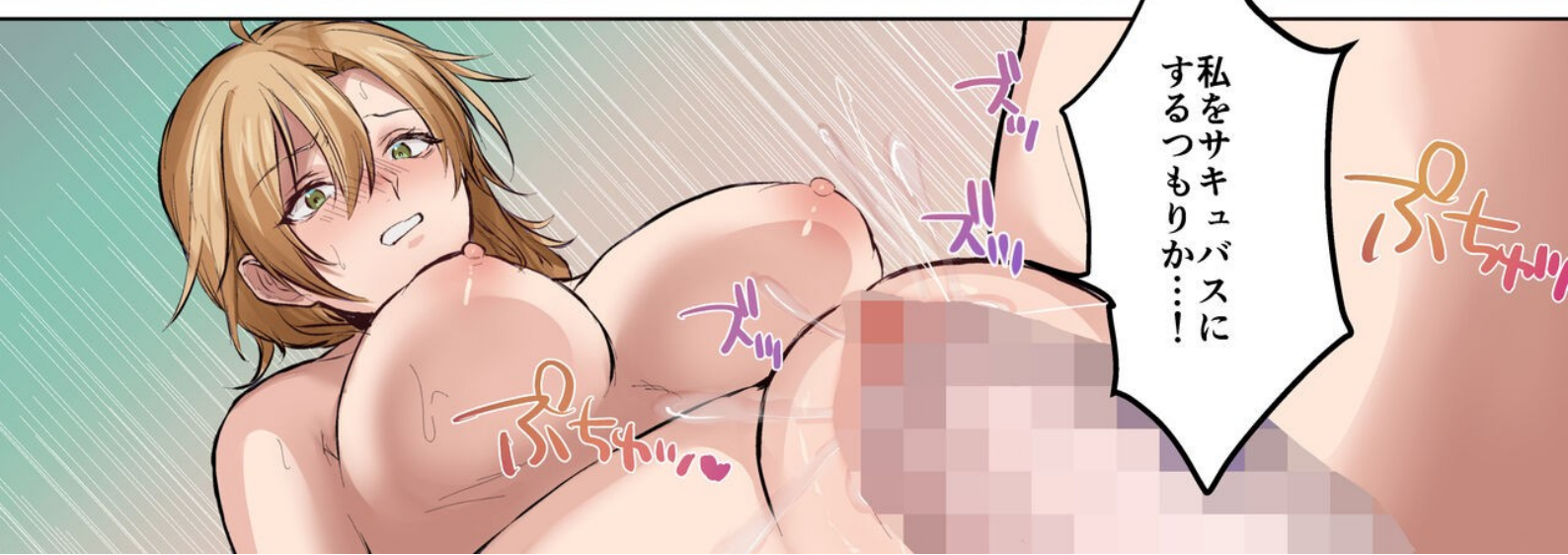


同じってまさか…!?



あとは私と…同じ…になるだけです…

えっ!?



私をサキュバスにするつもりか…!!

おにっ♡
おにっ♡
おにっ♡

おにっ♡

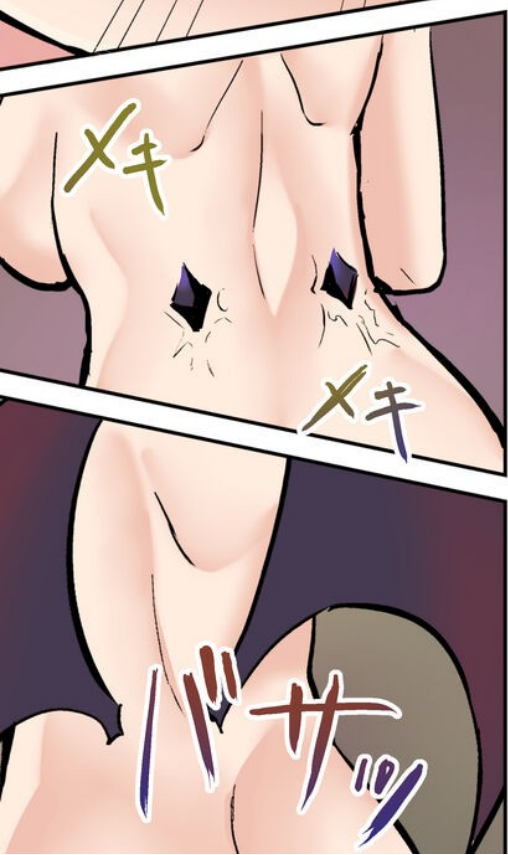


ええ♥
私の魔力のこもった
精液で満たされれば

あなたもきつと
素敵なサキュバスに
なれますよ♥



嫌っだッ!!
わたしは...!!





本当にサキユバスに
なってしまうのか...

ふあ

ふあ

とっっても素敵ですよ...
騎士様



もっと堕ちて...
乱れて

まだ完全な姿とは
言えませんので...

もうやめてくれ...

ハハ

アッ



絶対に……!

悪魔などに
心を
奪われるなど……!



胸も

でも……



おまんこも

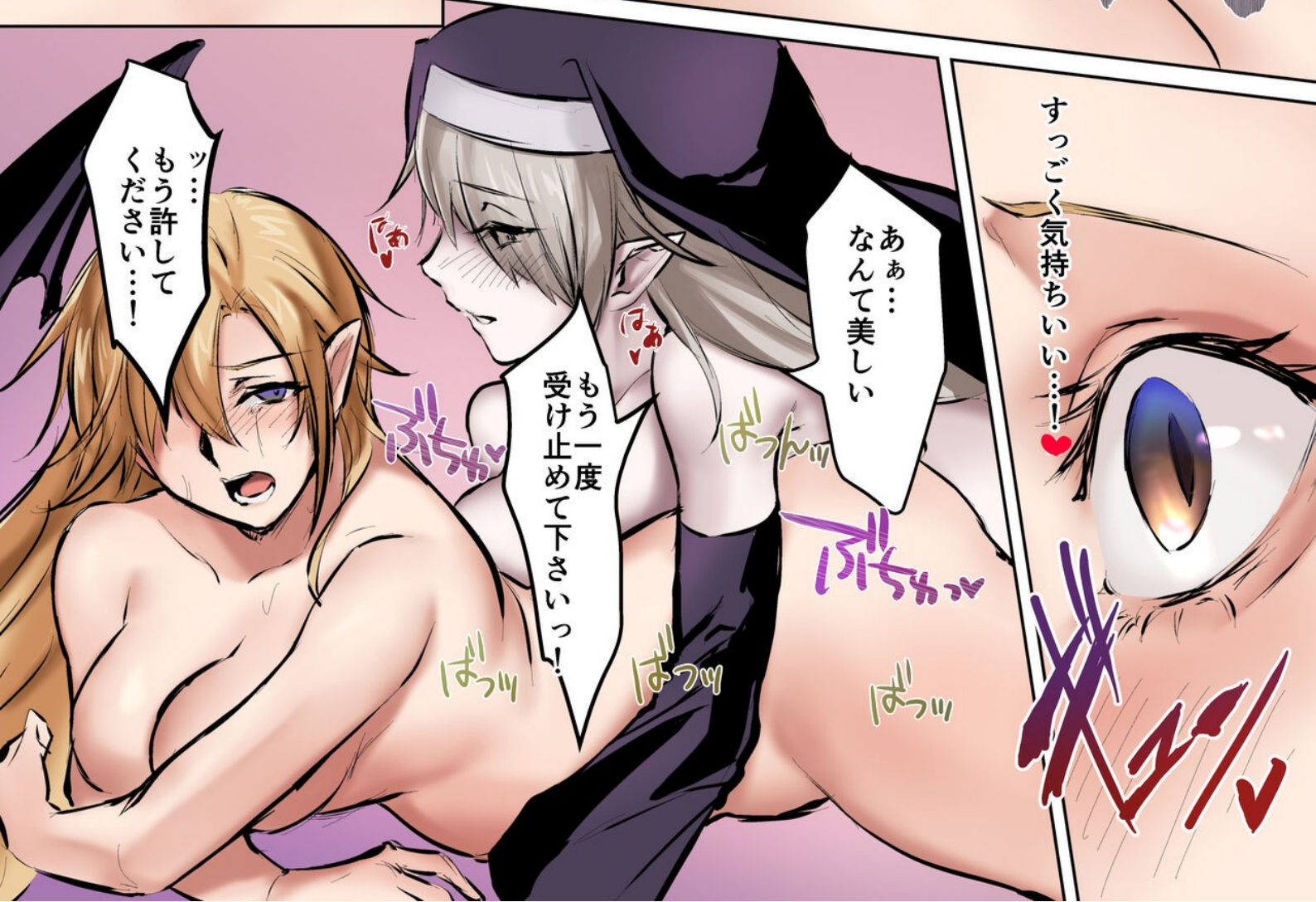


私に
美しい貴女を
見せてください
❤️

ぼん

駄目だ
落ちて
しまっは……!

ぼん



ッ……
もう許して
ください……!

ああ……
なんて美しい

もう一度
受け止めて下さるっ!

すっごく気持ちいい……!
❤️

ぼん

ぼん

ぼん

ぼん

ぼん

ぼん

ぼん

許す
だなんて
面白いことを
おっしゃりますこと

貴女の身体は
美しく造り変えられ

魔王様の元に
身を置くに
ふさわしい姿になって
おりますのに

もう元には戻れない…
そんな感覚が自身を
駆け巡る

それならば

もう
いっそ…

…ケガレタ存在で
あった私が
わからなくなるくらい

もっと
もっと魔力を注いで
私を救済してください
❤️

セクッ

あ
あ
あ

千わ
う
う

セクッ

セクッ

セクッ

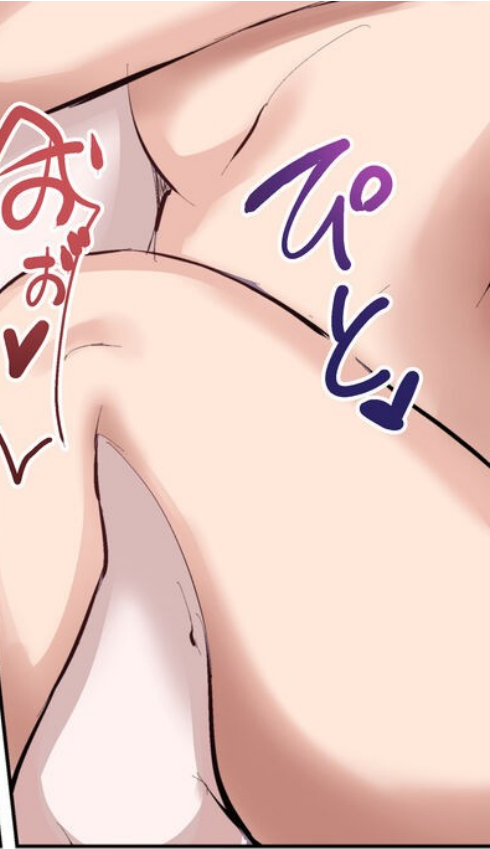
ほ
ま



ご褒美です



やっと素直になって
くれましたね



ありがとうございます
空虚な私めを
もっと満たしてください...❤

どっぷりと
注いで差しあげます

これからは
魔王様と…
お姉さまの為にっ

パッ

パッ

精一杯

風くしめすじじじじ

あ
あ
あ
あ

セクッ

セク

すぶ

すぶ

すぶ

ひゅん

カッ

ドクッ



失礼する
神隠し事件について
訪ねたいのだが…



ようこそ
いらっしやいました



どうぞ、ちやうど…❤